

2-2-8 第8分科会「童謡の研究」

担当者 斎藤洋 受講学生 12名

活動概要：童謡の歌詞に込められた真のメッセージを探り、さらには実際に歌うことにより、童謡への関心を深めた。歌詞の意味と解釈、詞とメロディーとの関係、曲の成立背景などについて文献、映像資料等をもとに多角的に研究した。

活動風景：





受講学生の感想（受講生の受講カードより抽出）

- 童謡の歌詞や成り立ちなどは、研究してみると面白そうだなあと考えた。童心にかえって楽しみたい。（11月4日の感想より）
- 歌詞の意味や背景にはとても深い謎があるようなので、それを理解すると童謡をさらに楽しめると考えた。（11月11日の感想より）
- 童謡がどのようにしてできたのかを知って感動した。外国の方である人が自分の子に読ませたい本がなかったから作ったと聞いたことがあるが、子どものためだと頑張れるのかなと思った。（11月18日の感想より）
- 遊び歌をまたいくつかしれてよかった。介護等体験で乳児院に行ったときにやってみようと思った。合唱はまだ音がとれないので頑張ろうと思った。（12月16日の感想より）
- それぞれが休みの間に調べたことについての最終的な発表を聞いて、みんな濃い内容を上手にまとめていて、勉強になった。全体会の発表に向けて頑張りたい。（1月20日の感想より）